

総合周産期母子医療センター

部門紹介

- 1) 「母体・胎児部門」と「新生児部門」からなり、互いに連携して高度な周産期医療を必要とする妊婦、新生児の治療を行っています。
- 2) 県内の周産期医療システムの中核として、医療の質の向上と円滑な運営維持のため、地域周産期母子医療センターや周産期医療協力施設と連携を図っています。
- 3) さらに、母子相互愛着形成を促進するための環境整備にも積極的に取り組んでいます。

指導医（スタッフ）紹介



副部長(准教授)
桃井 伸緒

昭和54年 福島県立福島高等学校卒業
昭和60年 福島県立医科大学卒業

臨床専門分野

- 1) 小児循環器

研究分野

- 1) 先天性心疾患
- 2) カテーテル治療



助教 **浅野 仁寛**

平成2年 東海高等学校卒業
平成10年 福島県立医科大学卒業
平成14年 福島県立医科大学大学院卒業
臨床専門分野

- 1) 周産期医学

研究分野

- 1) 切迫早産の予防・予知
- 2) 先天性サイトメガロ感染症



副部長(助教)
高橋 秀憲

平成元年 福島県立原町高等学校卒業
平成8年 福島県立医科大学卒業

臨床専門分野

- 1) 産婦人科内視鏡手術（子宮筋腫・卵巣腫瘍その他）
- 2) 周産期医学

研究分野

- 1) 産科母体生理学（胎児プログラミング・早産予防）

主な業務内容、メッセージ等

母体・胎児部門は、母体・胎児集中治療室(MFICU)として6床あり、産科病棟と併せて産科で管理されています。県内全域からのハイリスク妊婦や病的胎児の管理、異常分娩・産褥などの高度周産期管理を行い、妊婦、胎児に安全かつ効果的な治療を行っています。また、研究分野でも、早産や胎児生理学の研究は高い評価を得ています。

新生児部門は、新生児集中治療室(NICU)9床、専用後方病床(GCU)8床で構成されています。県内全域から高度な医療を必要とする、特に超低出生体重児や先天性心疾患の児を中心に受け入れています。県内の他施設や、院内の関連各科と連携して質の高い医療を提供すると共に、入院児と家族との繋がり、児の発達促進も重視しています。